

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム なずな

作成日: 令和 4 年 4 月 2 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	コロナ収束後には、外部からの参加委員の増員を図り、ホームの運営だけでなく、地域の問題にも一緒に取り組んでいけるような会議を目指していく。	元家族や地域住民、他グループホーム管理者等、委員の増員を図り、テーマを決めてミニ勉強会を行う等して内容を工夫し、多様な意見や提案が集まる活発な会議運営に取り組んでいく。	12ヶ月
2	15	職員を育てる取り組み	外部研修受講(リモートを含む)や資格取得を積極的に奨励し、全体の質の向上に繋げていく。	コロナ禍の為、外部研修には行きにくい状況であるが、リモートで行われる研修を積極的に受講し、資格をしっかりと取っていく事を促して、職員一人ひとりのスキルアップに取り組んでいく。	12ヶ月
3	37	災害対策	コロナ禍により緊急事態宣言が出た事により、利用者を含めた避難訓練が出来なかったため、実際の避難時間も測れないこともあり、目標として、火災・地震に備えた訓練をできる様にする。	火災・地震、それぞれに避難の体制も変わるので、職員全員がパニックにならない様、安全に利用者を避難誘導できる体制、職員同士で組み避難経路の確認、消火器の位置確認等、スタッフが利用者のADLに合わせ2人一組になり、特に夜間を想定した訓練に備えたい。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。